

# 令和5年6月21日からの鹿児島県奄美地方における大雨に伴う被災調査 (鹿児島県大島郡瀬戸内町、宇検村)

令和5年6月20日～21日にかけて鹿児島県奄美地方の南部で線状降水帯の豪雨による災害が発生し、防災ヘリ「はるかぜ」による上空からの被災状況調査を実施。

被災規模や斜面崩壊箇所の地質・風化状況、不安定土砂の残存状況、土石流発生の要因等を確認し、今後の対応について助言をいただいた。

参加者:鹿児島大学 地頭菌教授、鹿児島国道事務所、鹿児島県

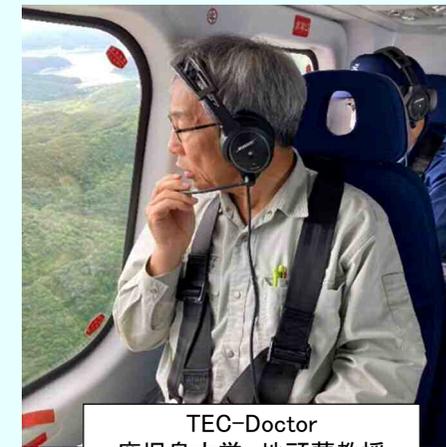
## ● TEC-Doctorによる防災ヘリ「はるかぜ」での被災状況調査(令和5年6月24、25日)



調査箇所の事前確認



被災状況  
(県道曾津高崎線:瀬戸内町久慈)



TEC-Doctor  
鹿児島大学 地頭菌教授

### 【調査内容】

- 土砂災害発生箇所において、被害規模(斜面長、幅、崩壊深等)や地質・風化状況、不安定土砂の残存状況等を確認
- 地上から確認できていない土砂災害箇所の有無
- 災害対策本部とリアルタイムで交信を行いながら被害状況の解説

### 【今後の対応への助言】

- 滑落崖の上部斜面や尾根道路の亀裂調査の実施
- 崩壊斜面、溪流内の不安定土砂の把握
- 大型土のう等による応急対応について

等